

ニュース明誠

MEISEI HIGH SCHOOL SINCE 1957
発行 明誠高等学校

桜花爛漫に咲き誇る中 平成21年度 入学式挙行



平成21年度入学式挙行

4月9日、あたたかな春の光に包まれ、平成21年度明誠高等学校入学式が挙行された。132名の新入生が、来賓の方々や保護者として教職員の拍手の中を、希望に満ちた面持ちで胸を張り入場した。入学許可宣言の後、永島一忠校長は式辞の中で「我が学園が君たちに望むことは、確固たる自信を持つ人間になってほしい。そのために、目標を持ち、計画を持ってください。長期の計画を持っていただくと、益田中学校出身の和崎佳佳さんが新入生を代表して「明日から始まる学校生活に、夢と希望で胸が膨らみます。我々教職員一同は、社会の財産である君たちが有意義に学業や部活



宣誓をする 和崎 佳佳さん

動に動かしめるよう、徹底した働きかけを行うことを約束します。」と述べた。そして、益田中学校出身の和崎佳佳さんが新入生を代表して「明日から始まる学校生活に、夢と希望で胸が膨らみます。我々教職員一同は、社会の財産である君たちが有意義に学業や部活

が膨らみます。我々教職員一同は、社会の財産である君たちが有意義に学業や部活

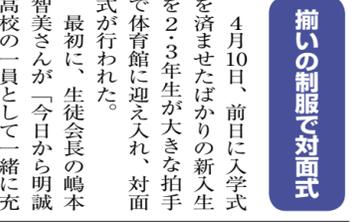


オリエンテーリングを楽しむ生徒たち

6日朝、学校に集合した新入生たちは一同バスに乗り、江津市にある島根県少年自然の家へ向かった。開校式に続き、「学習指導」では高校の学習システムについて説明を受け、「生徒指導」では生活三大指針である服装・挨拶・言葉について実践指導を受けた。また、「進路指導」では進路決定のために高校生活で

また、人権学習として仲間づくりワークショップ、クラス集会、自然の家主催のオリエンテーリングを通して、これから3年間、共に学ぶ仲間との親睦を図ることができたようである。津田真鼓さんと井関雅子さん(田万川中)は「時間の大切さとコミュニケーションの必要性を改めて感じた」と話してくれた。内容の濃い1泊2日の研修に、新入生たちの表情が少し高校生らしくなってきたように見えた。

3度目になる「新入生宿泊研修」が行われた。4月6〜7日に、今年度6日朝、学校に集合した新入生たちは一同バスに乗り、江津市にある島根県少年自然の家へ向かった。開校式に続き、「学習指導」では高校の学習システムについて説明を受け、「生徒指導」では生活三大指針である服装・挨拶・言葉について実践指導を受けた。また、「進路指導」では進路決定のために高校生活で



制服で対面式

4月10日、前日に入学式を済ませたばかりの新入生を2・3年生が大きな拍手で体育館に迎え入れ、対面式が行われた。最初に、生徒会長の嶋本智美さんが「今日から明誠高校の一員として一緒に充実した学校生活を送っていきましょう」と挨拶すると、新入生代表の下谷正之くん(青陵中)が「明誠高校に入学して本当に良かったと言えようように努力していきます。ご指導よろしくお願ひします。」と意気込みを表してくれました。

4月10日、前日に入学式を済ませたばかりの新入生を2・3年生が大きな拍手で体育館に迎え入れ、対面式が行われた。最初に、生徒会長の嶋本智美さんが「今日から明誠高校の一員として一緒に充実した学校生活を送っていきましょう」と挨拶すると、新入生代表の下谷正之くん(青陵中)が「明誠高校に入学して本当に良かったと言えようように努力していきます。ご指導よろしくお願ひします。」と意気込みを表してくれました。



高得点で合格した山根直哉さん(福祉施設勤務)

「第21回介護福祉士国家試験」が、1月25日に一次試験、3月1日に二次試験(免除者あり)という日程で行われた。平成20年度の福祉科卒業生については全員が受験した。その結果、昨年の合格者数を上回る21名の生徒が合格を受け取ることができた。全国の合格率が52.0%であるのに対して本校の合格率は67.7%と今年も高い値をキープすることができた。なお、合格者はいずれも訪問介護員1級も認定されており、福祉施設等での活躍が期待できる。

このカリキュラム変更によって、現行では介護技術講習会を受講するか、国家試験で二次試験を受けなければならぬが、これらが免除されるようになり合格率のアップも期待できる。県内で介護福祉士国家試験の受験資格が得られるのは本校のみ。また、今までと同様に訪問介護員1級あるいは2級の認定もされる。

今年度入学生より、介護福祉士国家試験の受験資格の認定条件が厳しくなったため、本校ではそれに伴って教育内容を専門学校と同レベルまで引き上げることとなった。例えば、施設実習の期間が4倍にも増え、実習先の施設の種類の多彩に富んだり、新しい専門科目が加わったりする。そのため、月曜日から金曜日まで毎日7時間の授業を受けることになるが、今まで以上に豊富な知識と高い技能を身に付けることができる。

前年度、全国アベック出場を果たした卓球部に、今年度は男子3名、女子2名の新入部員が加わった。門司実業(福岡・前原西中)は福岡県第2位で全国中学校大会に出場した経験を持つ。他、三成文人(玉湯中)、中村健汰(滋賀・高穂中)、河野芳輝(浜田三中)、土屋智鶴(大阪・住吉中)と少数ではあるが、今後の活躍が期待できる。岸総監督は、日本一の練習



卓球部1年生

強化指定部 野球部・卓球部・サッカー部 今年こそ目標達成の年!!



野球部1年生

今年度は、島根県クラブユース選手権で準優勝したチームのメンバーである石川侑大(横田中)、塩道和貴(美都中)、松本佑作(兼手中)の3人を始めとし、梅本真人、大庭正嗣、水津隼也、羽柴竜、松本大輔、若松凌平(益田中)、中村永(八日市中)、宇都本幸輝、岡崎裕希(東陽中)、尾土井竜太(兼手中)、石橋佳知、内藤総太郎、長谷川颯、藤永雄(横田中)、森本春樹(浜



サッカー部1年生



3月25日〜28日に、愛媛県松山市の松山武道館で全国高等学校選抜卓球大会が行われた。中国地区大会で男女アベック優勝を果たした明誠高校卓球部が揃っての出場権を獲得した。女子は、初戦エース対決で敗れる苦しい展開になったが、全員の踏ん張りで見事に切り切り、その後は実力を十分発揮し、準々決勝に駒を進め、優勝した四天王寺高校に對して、堂々とした戦いを演じ、この大会初の第5位入賞を飾った。

予選リーグD組 明誠③・2 福井商業 明誠③・0 今治北 決勝トーナメント 明誠③・0 遊学館 明誠①・③ 四天王寺 第5位入賞

予選リーグO組 明誠②・③ 狭山ヶ丘 明誠③・0 宮崎商業 予選リーグ敗退

ナメントには進出できず涙を吞んだ。岸総監督は次の目標は、8月の全国高校総体に、男女団体・シングルス・ダブルスのすべてのキープを獲得して出場し、男女揃って入賞することです」と力強く語った。

卓球部 中川さん 女子ジュニアシオナルチーム候補選手に抜擢

4月8日、日本卓球協会強化本部より朗報が届いた。卓球部の岸総監督に、女子ジュニアシオナルチーム(JNT)のコーチ依頼であった。昨年度に引き続き8年目になる。さらに、昨年世界卓球ジュニアサーキットトウチ大会に出場し快挙を成し遂げた、卓球部2年の中川博子さんにも女子JNT候補選手の委嘱状が届いたのである。

女子JNTには、全国から選手8名と候補選手6名のたった14名しか選ばれないので今回の抜擢は大変な名誉である。候補選手になると、年5回以上行われるJNTの合宿に参加でき、海外遠征のメンバーに選ばれたことになる。さらに合宿や遠征での結果次第では世界大会出場の可能性もある。

合宿や大会で自分よりも強い人に沢山勝って、来年は候補選手としてはなく、選手として選ばれたいと野望を語ってくれた。明誠高校の代表として、また日本の代表として大いに活躍してくれることを期待する。



目標に向かって頑張っている卒業生

陸上部 中学時4種競技にて元山陰記録保持者である大田健斗(横田中)を筆頭に、島根県中学生女子100mラン 爽やかな汗がキラリ 球技大会が催された。4月30日、晴天に恵まれ、屋内では、卓球・バスケットボール・バレーボール、屋外では、ソフトボールとサッカーが行われた。皆、汗を流しながら一生懸命に戦い、学年の壁を越えての交流ができた。優勝チームは、7月8日の益田地区球技大会へ出場できる。



汗を流しプレーする生徒たち

通信制課程 前期スタート!

明誠高校通信制課程の前期が始まりました。4月18日、益田校(明誠高校)と松江校(松江西

高校)にて60名の生徒たちが、それぞれの拠点に集合し、ガイダンスと身体測定を行いました。

行事予定 中間試験 5月18日(月)~21日(木) 期末試験 6月29日(月)~7月3日(金) 1学期終業式 7月17日(金) 1・2年生保護者面談 7月21日(火)~24日(金) 2学期始業式 8月24日(月) 向日葵祭(体育祭) 8月29日(土)

体験入学・部活動体験 第1回 7月30日(木) 第2回 7月31日(金) 第3回 8月20日(木) 第4回 8月21日(金)